

日立埠頭株式会社

[法人の概要]

平成18年7月1日現在

代表者名	高岡 洋 (常勤)	県所管部課	土木部 港湾課	
所在地	茨城県日立市久慈町1-3-10	電話番号	0294-53-2400	
ホームページURL	http://www.hitachi-futo.co.jp	E-mailアドレス		
資本金	270,500 千円	設立年月日	昭和34年8月14日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1	株式会社日立製作所	76,600 千円	28.3 %
	2	茨城県	46,700 千円	17.3 %
	3	日立市	46,700 千円	17.3 %
	4	日立電線株式会社	12,000 千円	4.4 %
	5	株式会社日立物流	12,000 千円	4.4 %
	その他	17 団体	76,500 千円	28.3 %
設立目的	昭和34年に日立港において港湾運送事業及び関連事業を営営することを目的に設立。その後、平成元年に国際情勢の大きな変動、国内での高水準の設備投資と活発な個人消費による内需主導型経済の拡大に対応して、茨城県、日立市からの支援体制を強化し、第3セクターとしての基盤を確立するため増資し、現在に至る。			

[事業の概要]

事業名	平成18年度事業費	内容
事業1 一般港湾運送事業	2,462,422 千円	港湾における荷役業務
事業2 一般貨物自動車運送事業	1,949,957 千円	生乳輸送及び運送取次事業
事業3 その他事業	1,890,614 千円	倉庫業他

[組織]

7月1日現在の人数	平成16年			平成17年			平成18年			
	県派遣	県OB		県派遣	県OB		県派遣	県OB		
役員	常勤取締役	4	0	0	4	0	0	4	0	0
	非常勤取締役	13	0	0	13	0	0	13	0	0
	常勤監査役	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非常勤監査役	2	0	0	2	0	0	2	0	0
	計	19	0	0	19	0	0	19	0	0
職員	管理職	63	0	0	69	0	0	73	0	0
	一般職	116	0	0	109	0	0	118	0	0
	臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	嘱託職員	1	0	0	1	0	0	1	0	0
	計	180	0	0	179	0	0	192	0	0
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数			
	39	66	37	46	188	42歳3月	13年0月			

[収支の状況]		日立埠頭株式会社		(単位:千円)
区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	
収 支 の 状 況	売上高	5,723,279	6,188,325	6,302,993
	売上原価	5,095,816	5,502,227	5,585,293
	売上総利益	627,463	686,098	717,700
	販売費及び一般管理費	611,819	612,563	613,458
	うち管理費	230,137	242,634	218,486
	うち人件費	381,682	369,929	394,972
	営業利益	15,644	73,535	104,242
	営業外収益	43,104	50,260	48,704
	営業外費用	36,621	43,572	42,488
	経常利益	22,127	80,223	110,458
	特別利益	0	0	0
	特別損失	0	0	0
	税引前当期純利益	22,127	80,223	110,458
	法人税, 住民税, 事業税	4,336	43,583	55,151
	当期純利益	17,791	36,640	55,307
	前期繰越金	252,111	246,082	253,492
	当期未処分利益	269,902	282,722	308,799
利益処分・損失補填額	23,820	29,230	34,640	
次期繰越金	246,082	253,492	274,159	
財 産 の 状 況	資産	4,554,275	4,428,918	4,673,140
	流動資産	2,279,346	2,391,432	2,821,273
	固定資産	2,274,929	2,037,486	1,851,867
	繰延資産	0	0	0
	負債	3,007,749	2,869,571	3,087,717
	流動負債	1,973,756	1,956,512	2,203,998
	うち短期借入金	114,120	63,600	60,000
	固定負債	1,033,993	913,059	883,719
	うち長期借入金	128,600	65,000	5,000
	資本	1,546,526	1,559,347	1,585,423

[財的関与の状況]		(単位:千円)		
区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	
財 的 関 与 状 況	補助金	0	0	0
	委託金	50,276	9,790	7,500
	貸付金	0	0	0
	計	50,276	9,790	7,500
	財政的関与の割合(%)	1%	0%	0%
損失補償・債務保証				

[平成17年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	
委託金	日立港荷役機械保守点検業務: 7,500千円
貸付金	

[評価総括]

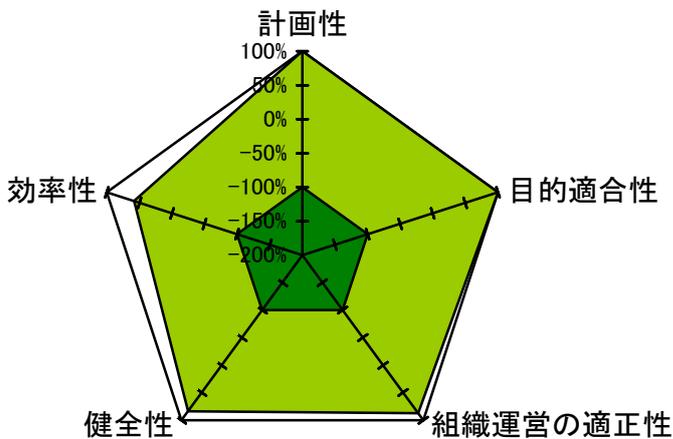
評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	8	8	100.0%
目的適合性	4	10	10	100.0%
組織運営の適正性	4	7	8	87.5%
健全性	9	30	36	83.3%
効率性	7	14	24	58.3%
合計	28	69	86	80.2%

企業会計用

日立埠頭株式会社

警戒指標

経営評価レーダーチャート



《評価の視点》

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照

[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題・対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
中長期経営計画、年次計画を策定しており、年次計画は四半期毎に計画と実績を比較分析を実施している。	事業の公共性を自覚し、ISO9001品質方針に基づく活動方針を従業員に徹底し、顧客へのサービスに努めている。	ISO9001業務手順書及び他諸規則の遵守によりチェック体制を確立している。	激化するコスト競争への対応のため、業務の総点検及び支出の総ざらいによるコストの徹底削減を図る。	当社グループの結束を強化する。TQC活動(全社的品質管理)及びITを駆使した作業改善により効率向上を図る。
今後の事業展開の方向	和協一致・基本と正道の精神のもと、総合物流サービス事業者として、誠意をもって顧客に応え、積極進取の気概を奮って健全な事業経営を追求すると共に、自らの公共的使命を自覚して、日立港・常陸那珂港の発展に寄与し、あわせて地域社会に貢献することを基本理念とし、常に時代が求める総合物流の在り方をハード・ソフト両面からご提案し、総合一貫物流をカタチにし、お客様の企業活動をサポートして参ります。			

[法人を担当する課の意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
景気の動向に対応するため、中長期経営計画及び年次計画の定期的な見直しを実施するなど計画完遂に努められたい。	日立港における唯一の港湾運送事業者として、顧客へのサービス向上に努める必要がある。	ISO9001の取得・運営を行うなど適正な組織運営を図っている。	全社挙げてコストの徹底削減を図るなどし、近年、黒字経営に転換している。	激化する港間のサービス競争に対応できるよう、一層の受注拡大及び合理化・効率化を推進する必要がある。
法人担当課の意見	全社挙げての業務の総点検及び徹底したコスト削減の実施効果により、二期連続の売上高60億円超えを達成し、安定した黒字経営となっている。今後は、激化する港間のサービス競争に対応できるよう、グループ各社の結束をより強め一層の受注拡大に努め、更に合理化・効率化を推進し、競争力を強化し経営基盤の安定を図って行く必要がある。また、時代が求める総合物流をハード・ソフトの両面からサポートし、顧客へのサービス向上に努め、日立港及び常陸那珂港の発展に寄与する必要がある。			

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">健全性</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">効率性</div> </div>				
総合的所見等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">概ね良好</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">改善の余地がある</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">緊急の改善措置が必要</div> </div> <p>当社は、平成15年度以降健全な経営を継続している。また、ISO9001の認証取得・更新等に積極的に取り組み顧客サービスに努めるなど、経営管理レベルが高く、これらの取り組みは評価できる。 今後とも受注拡大に向けた営業活動や徹底したコスト削減に努めるとともに、港湾行政の一翼を担う公益的な役割を發揮されたい。</p>				
総合的所見等に係る対応	今後とも徹底したコスト削減に努めるとともに、受注拡大に向けた積極的な営業活動を展開し、さらに港湾行政の一翼を担う第三セクターとしての役割を十分發揮できるよう指導していく。				

< 日立埠頭株式会社 から県民のみなさまへ >

<p>私たちは「環境に優しい総合物流サービス」をスローガンに物流輸送方法を温暖化ガス(CO2)排出量の少ない海上輸送へ転換する「モーダルシフト」をお客様に提案し続けております。公正・透明な企業活動を堅持し、お客様が求める「環境とコストの両立」に応え、「北関東の海の玄関:茨城港(日立港・常陸那珂港・大洗港)」として、更に「日本一の地方港」を目指し、「安全」「確実」「迅速」な荷役技術の向上に努め、社会に貢献して参ります。</p> <p style="text-align: right;">平成19年2月 取締役社長 高岡 洋</p>
